

質問69

漁師が海に出て最も恐れていることはなんですか？（中2男子）

答え

漁業者から聞いた話から一例を紹介（しょうかい）します。

台風（たいふう）などによる急激（きゅうげき）な時化（しけ）（海（あ）が荒れることです）

他船（たせん）との衝突（しょうとつじこ）事故（じこ）（海（かい）には交通（こうつう）標識（ひょうしき）がないので、常（つね）に他船（たせん）の位置（いち）・動き（うごき）を確認（かくにん）することが必要（ひつよう）です。特に、たくさん（たくさん）の船（せん）が漁（り）をしている場所（ばしょ）や霧（きり）や夜間（やかん）により周り（まわり）の見通（みとお）しが悪い（わるい）ときに注意（ちゅうい）が必要（ひつよう）です）

漁業（りょく）で使用する網（あみ）やロープ（ロープ）、機械類（きかいるい）の操作（そうさ）（漁業（りょく）に使用する漁具（ぎよく）や機械（きか）は大（おほ）がかりであるほか、強い力（ちから）が加（く）わるため、巻（ま）き込まれると海中（かいちゆう）転落（てんらく）やケガ（けが）・死亡（しつじつ）にいたる危険（きけん）があります。）

漁船（りくせん）への着氷（ちゃくひょう）（冬（ふゆ）の海（かい）で漁船（りくせん）にかかるしづきが凍（こ）って、船（せん）のバラン（ばらん）スが悪（わる）くなることです。船（せん）が転覆（てんぷく）する可能性（かんのうせい）が高（たか）まります。）

漁業（りょく）や養殖業（ようしょくぎょう）は、海（かい）という自然（しぜん）を相手（あいて）にする仕事（しごと）なので、漁師（りし）は海難事故（かいなんじこ）や操業上（そうぎょう）の事故（じこ）などを起こ（おこ）さないよう、正しい技術（ぎじゆつ）・知識（ちしき）の習得（じゅうとく）や十分（じゅうぶん）な注意（ちゅうい）が必要（ひつよう）ですが、熟練（じゆくれん）した漁師（りし）は十分（じゅうぶん）な経験（けいけん）を重（おも）ねており、安全（あんぜん）に最も注意（ちゅうい）して操業（そうぎょう）しているため、必要（ひつよう）以上に恐（おそ）れることはありませ（な）ん。

また、最近（さいきん）では海中（かいちゆう）転落（てんらく）や船（せん）の転覆（てんぷく）事故（じこ）などに備（そな）え、ライフジャケット（ライフジャケット）の着用（さうじゆう）や、遭難（そうなん）信号（しんごう）を衛星（えいせい）に発信（はっしん）する装置（そうち）など、漁業（りょく）に応（おん）じた安全対策（あんぜんたいさく）が普及（ふきゅう）しつつあり（ま）す。